

デジタル化に向けた8つの方向性＝おだわらデジタル8（エイト）



めまぐるしく速い時代の潮流の中でも豊かな未来社会を実現するため、小田原市は力強くデジタル化に向けた**8本の鍔（MORI）**を放つ！

① 市民生活分野のデジタル化

市民生活に密接に関わる分野のデジタル化を推進することにより利便性の向上を図る。

③ デジタルデバйд対策

身体的・社会的理由等による情報格差を減らし、全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できる環境を整える。

⑤ 行政におけるICT基盤の最適化

業務・システムの統一・標準化を推進するとともに、最新技術を取り入れることにより安全性と利便性を両立させたICT基盤の最適化を図る。

⑦ データ活用環境の構築

より多くのデータを様々な主体が容易に活用できるようにするため、情報セキュリティ対策を講じ、安全性を確保しながら、情報のオープンデータ基盤づくりを推進する。

② 地域課題の解決

デジタル技術を積極的に活用することで、地域が抱える課題の解決を目指す。

④ 行政サービスの改革

行政サービスの向上や行政運営の簡素化・効率化に向けて、各種手続きのオンライン化やワンストップサービスの推進等、業務改革を推進する。

⑥ ICT人材の育成・登用

デジタル技術を積極的に施策等に取り入れていく視点を持った職員の育成や、専門的知識を持つ外部人材の登用を図る

⑧ 産学官連携の推進

地域の各種団体、市内外の民間企業、大学等の研究機関や金融機関など、多様な主体との協働や国県との緊密な連携を図る。